

「ゆっくりリズムのまち桐生」の着実な実現について（新規）

平成20年から実施された科学技術振興機構（JST）の補助による社会実験を契機に策定された「桐生市環境先進都市将来構想」は、その後の様々な活動を通じて昨年11月に「ゆっくりリズムのまち桐生」が宣言されました。

この趣旨は、桐生市の未来の社会構造を変えることにより、幸福感のある社会の構築を目指すことであり、経済発展が成長の証という価値観からの脱却、つまり20世紀型の大量生産、大量消費による使い捨て社会をやめ、少量の高付加価値商品を作っていく社会を実現することがその手法となります。

この「ゆっくりリズムのまち桐生」構想は、持続可能な都市モデルとしての桐生市の具現化がその本質であり、この実現のためには、単に環境だけでなく、ライフスタイルや社会構造を変えていくことが重要な要素となっています。

桐生市には産官学民が結集しているコミュニティがあります。同構想の実現のための具体的な活動には、このコミュニティを素地とするワーキンググループを結成し、それぞれが良いアイデアを出し合うことで、桐生地域の社会の変革に取り組むことが必要です。

この「ゆっくりリズムのまち桐生」構想を一日も早く着実に実現していくため、産官学民が一体となった具体的な活動を、市民に分かる形で取り組むことを要望します。

桐生市からの回答

令和2年11月に宣言された「ゆっくりリズムのまち桐生」については、令和3年6月に開催された桐生市環境先進都市将来構想推進協議会において、「交通やまちづくりを提案するワーキンググループ」と「豊かな生活・ライフスタイルを提案するワーキンググループ」の2つのワーキンググループの設置を決定して、具体的な協議を進めているところです。

環境にやさしいライフスタイルやスローライフを心掛けるまちづくりを推進し、持続可能な未来社会をつくるため、産官学民が協力して実現化してまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 市民生活部環境課環境都市推進担当